

ルーラ元大統領の有罪判決と収監強行は民主主義の破壊だ

国際労連 (ITUC) シャロン・バロー書記長が批判

ブラジル最高裁は軍の脅迫に屈した

4月6日、国際労働組合総連合 (ITUC) はホームページ上で「ルーラ元大統領の収監決定は正義の漫画化である」とする批判記事を公表し、ブラジル最高裁判所の決定を厳しく批判しています。

同記事の中で、ITUCのシャロン・バロー書記長は「ルーラ元大統領は、判決を下した下級審の判事が自ら認めているように、根拠なく有罪とされた。そして今、軍による介入の脅迫の下で最高裁は、貧困と不平等をなくすためにたたかったルーラ元大統領の成果を破壊しようとする強大な経済界に屈服した」と批判。さらに、「ルーラ元大統領はブラジルで他の政治家を大きく引き離して最も支持されている政治家であり、彼に対する法的手続きの形をとった迫害は、来たる選挙で再度大統領に選出されることを阻止しようとするものである」と指摘しています。

そして、「一部の裁判官と、軍事独裁下で富を築いた支配者たち、軍隊の指揮官、武装民兵を含む極右勢力の共謀は、南米で最大の国の民主主義それ自体に対する深刻な脅威となっている」として、「世界中の労働組合運動はブラジルの仲間と無条件に連帯し、民主主義を守り、法の支配を回復するために、求められる要請に可能な限りの支援をする」と表明しています。ITUC ホームページを開くにはctrl キーを押しながら下をクリック。

<https://www.ituc-csi.org/brazil-decision-to-jail-lula-is-a>

ルーラを解放せよ UNI Global

ITUC だけではなく世界の主要な労働組合は、ブラジルのルーラ元大統領に対する「汚職容疑」の有罪判決、従来の法手続きを無視する収監の決定はルーラ元大統領個人への攻撃ではなく、労働組合運動と民主主義への攻撃として批判しています。グローバル労組として、金融労働者を含む技術、サービス部門で2000万人を組織するユニ・グローバル (UNI Global) は、すべての加盟組織に「ルーラを解放せよ！」の行動を呼びかけています。

UNI ファイナンスの議長で、ブラジル労働運動の指導者でもあるリタ・バーロファさんは4月12日付のUNI ホームページで「ルーラ元大統領に対する有罪判決は、汚職問題とは全く無関係な政治的な意図によるものであることを明確にしましょう。金持ちや右翼はルーラ氏を大統領選挙に立たせたくないのです。大統領選挙に出るならルーラが勝つことがはっきりしています。そうなれば彼が推し進めた『社会的包括政策』が再開されてしまうからです。UNI において、『私たちがルーラである』と宣言します。私たちはルーラの解放と、彼が目指した理想のために闘います」と訴えています。

バーロファ議長はUNI アメリカのルーベン・コルチナ議長、アルゼンチン労働総同盟のヘクター・ダエル氏とともに、ルーラ元大統領が収監される前にルーラ氏のホームタウンにある鉄鋼労働者の組合事務所を訪問しています。

コルチナ氏はUNI アメリカの議長として「ルーラ氏への攻撃は彼個人やブラジル労働組合運動のみに対する攻撃ではなく、民主主義に対する攻撃だ。この誤った裁判は我々を怯えさせることはなく、我々を行動に立ち上がらせる。ルーラ氏はブラジルの経済をより公正で平等なものに作り変えた。我々は、彼が成し遂げてきた仕事を、ブラジルとこの地域で組織し続ける」と言明しています。アルゼンチン労働総同盟のダエル議長は「ルーラ氏解放を求

めるたたかいは、民主主義の価値を守るたたかいであり、人間の権利を強めるたたかいだ」と表明。

UNI のホームページ記事では、3月に、ルーラ氏のキャンペーンの車が銃撃され、リオデジャネイロの38歳の市議会議員が殺害されたことを報じ、ルーラ氏の権利回復を要求する運動は、労働組合運動指導者の安全を実現する点でも緊急の課題となっていることを指摘しています。

UNI ホームページを開くにはctrl キーを押しながら下をクリック。

<http://www.uniglobalunion.org/news/uni-management-committee-calls-all-affiliates-act-free-lula>

ルーラ氏の収監は10月の大統領選挙に立候補させないためだ 国際公務労連

公務員労働者を2000万人組織する国際公務労連 (PSI) は、ホームページの4月6日付記事でこの問題を報じています。同記事では、ブラジルの最高裁判所がルーラ元大統領の収監を認めた決定は「控訴審の審理がすべて終了した場合に収監が認められるとしている憲法と刑法に違反していると指摘。

PSI のローザ・パバネリ書記長は「元大統領は10月に予定されている大統領選挙で支持率がリードしているために、右派の政治的迫害の犠牲となっていることが明白です」として「まさにこの時期における元大統領の収監は、近年ブラジルで実現した社会的成果を台無しにするもの」と批判。「ルーラ氏抜きの大統領選挙は詐欺行為である」と断じています。また、ブラジル労働組合のリーダーでもあるPSIの世界執行委員会のユネイア・マーチン・バチスタ執行委員は「ルーラ元大統領の有罪判決と収監決定は、議会におけるクーデターが今も継続しており、民主主義の決定的な破壊が行われようとしていることを示している」と発言。

同ホームページは、最後にルーラ氏の解放と政治的権利の確保には、国際的な連帯が決定的に重要であるとして結んでいます。

PSI のホームページを開くにはctrl キーを押しながら下をクリック。

<http://www.world-psi.org/en/brazilian-trade-union-movement-repudiates-order-imprisonment-against-lula>

a

貧困層の底上げ、格差解消を進めたルーラ元大統領

ルーラ大統領とその政策を引き継いだ政権の下で、ブラジルは10年間で正規雇用1300万人増加し、格差是正の政策により、最低賃金は2002年195リアルから、2013年678リアル(3.2万円)に引き上げられ、ボルサファミリア。生活扶助制度の導入で、インフォーマル雇用を含む貧困の層の底上げが行われました。支援した貧困家庭は4800万人。2000万人の貧困脱却に貢献。子供を就学させ定期的な健康診断を受けさせることを条件に、子供を持つ家庭に平均月70リアル(約3300円)支給。低所得層の底上げで中間層を2003年の6950万人、総人口の38%だったものを2011年には1億550万人、総人口の55%に増大させたなど報告されています。(「ブラジル経済の現状と課題」国際通貨研究所 森川央 2013年8月)

ITUC UNI PSI ホームページ英文の日本語訳は田中によります。

金融・労働研究ネットワーク 田中均